

会報表紙写真「大宜味村の「鴨」」 (平成19年2月号掲載)を表彰!!



以前、大宜味村「道の駅・おおぎみ」の前の海岸にはたくさんの鴨?がいました。ちょうど滝から真水が海に流れこんでおり、住みやすいのでしょうか。残念ながら、最近は見かけませんので、何処かへ渡ってしまったのでしょうか。

那覇市立病院 川野 幸志

講評

写真家 新報カルチャーセンター講師

新嘉喜 祐司

大変ほのぼのとした写真です。
なんとなく気の合う友達とお互いの健康を気遣っている感じがします。
「大丈夫かい?」「風邪ひいてないかい?」
「お互い気をつけようね。」「元気で頑張ろう。」「また会おうな。」
温かみのある様子が伝わってきます。
人間社会もそうあって欲しいものです。

コメント

編集委員長 村田 謙二

川野幸志先生表彰おめでとうございます。先生の日頃の精進の賜物と思います。読者諸氏に

はぜひ、本誌先月号新春干支随筆コーナーに掲載されました川野先生の文章を再読頂きたいものです。先生にとって写真という趣味のきっかけの一つが本誌表紙への投稿であったこと、文末で読者に写真の投稿を呼びかけて下さったことなど、編集者としてはうれしいかぎりです。

なお先生の名誉のために、その文章と今回の表彰は全く関連がないこと、選考時には先月号はまだ発刊されていなかったことを明記させていただきます。

さて、表紙写真選びの苦労は相変わらず続いていて、かつての川野先生のように広報担当の玉井修先生や私も投稿しています。ちなみに今回の表彰の次席は玉井先生の3月号表紙の「屋根」と小生の7月号の「手つかずの自然」であったことを付記しておきます。